



キャンプ利用状況（1月4日現在）



- 宿泊利用者数 延べ 5,442 名 *12/27 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,912 名 *12/28 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分		1/4	5	6	7	8	9	10
曜 日		水	木	金	土	日	月	火
宿 泊 者		3	7	10	12	11	8	6
活 動 者		0	5	11	10	13	11	6
内 訳	個 人	0	5	11	10	13	11	6
	団 体	0	0	0	0	0	0	0

■ 復興元年。ふるさとの復興にもっと支援を ■
2012 年もよろしくお願いします！

◆ 幸多き一年でありますように ー。

かわいキャンプは、きょう 4 日復興元年の活動始めです。東日本大震災から間もなく 10 カ月。被災地に暮らす人々は、ふるさとの復興に向けて自ら力強い動きを始めています。暮らしの支援に結び付くような活動が、地元の復興支援センターをはじめ、社協、民生委員、ボランティアさんなどにより組織的・継続的に行われるよれた事業者の方々は、多くの困陸部からの出直し、沿岸水産・りわい)の再生に向けて歩み始



◆ かわいキャンプには、被災地のきを支援する活動が求められます。ボランティアさんのやりがります。キャンプでは、各復興かわボラさんの提言もお聴きしながら支援活動を進めたいと思っています。

うになりました。また、被災さ難を背負う中で、仮設店舗や内加工業の本格稼働など、生業(なめています。方々の暮らしの復興に向けた動す。そのような活動には、参加い感を満足させれない場合もあ支援センターと連携、調整し、

◆ 復興元年。ほんとうの復興に向けたボランティア活動が正念場を迎えます。引き続き、盛岡市民、岩手県民、全国の方々へ力強い支援を呼びかけます。



キャンプ利用状況 (1月6日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,459 名 *1/5 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,919 名 *1/5 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分		1/6	7	8	9	10	11	12
曜 日		金	土	日	月	火	水	木
宿 泊 者		17	25	22	13	9	9	9
活 動 者		15	26	27	21	11	9	9
内 訳	個 人	15	26	27	9	11	9	9
	団 体	0	0	0	0	0	0	0

かわいキャンプ 復興元年始動。

宮古市の写真洗浄はキャンプで

- ◆ きのう5日、かわいキャンプは7名のボランティアさんにより復興元年の初活動を行いました。この日かわボラさんは、山田町の旧県立山田病院で再開された写真洗浄に4名が、キャンプ内で行われることとなった宮古市の写真洗浄の準備に2名が参加するなど、新年早々の活動に汗を流しました。継続して行われる宮古市仮設住宅サロンは、鉾ヶ崎、宮古二中できょう6日から活動を再開します。
- ◆ キャンプでは、津波により流失し回収された写真、アルバム等の洗浄作業を、保管する宮古市役所から依頼を受けて専属的に行うこととなりました。これまでも、宮古小学校での作業に、かわボラさん5名程度が連日参加してきたところですが、この経験や山田町、大槌町での経験を踏まえての作業となります。今後、キャンプではダンボール62箱にぎっしり詰まった未処理の写真、アルバム等の洗浄から乾燥、整理、保管の一連の作業を行い、思い出探しのお手伝いをします。
- ◆ この作業を行うため、担当するかわボラさんと相談してキャンプ2階に写真洗浄室と写真乾燥室を設け、きょう6日から作業を開始しました。



写真洗浄作業



写真の乾燥

リポートかわいキャンプ

2012. 1. 9
第78号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (1月9日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,527 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 1. 8 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 5,989 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 1. 8 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	1/9	10	11	12	13	14	15
曜 日	月	火	水	木	金	土	日
宿 泊 者	14	9	9	9	8	9	6
活 動 者	22	11	9	9	8	11	9
内 訳	個 人	22	11	9	9	8	11
	団 体	0	0	0	0	0	0



田老新春箏コンサート

かわボラ田澤さんプロデュース



- ◆ きう8日、宮古市グリーンピア三陸みやこ体育館においてかわボラ（かわいキャンプのボランティアさん）田澤隆さん（青森県）企画・立案による「田老新春箏コンサート」が開かれました。このコンサートでは、生田流日本当道会山崎社中さん（青森県黒石市）の演奏による箏7面のほか尺八、三弦などの楽器も加わり、きらきら星、元禄花見踊り、さくらさくら、春の海など復興に向けた華やかな曲が演奏され、来場された田老地区約200名の方々に魅了しました。
- ◆ また、この日は同体育館フロアにおいて、餅つきやポップコーン、綿菓子などを用意したほか、現地子どもの手づくりによる双六(すごろく)やカルタ遊びなど、お正月が満喫できる催しとなりました。餅つきの準備にあたっては、岩手県紫波町赤石公民館から臼、杵をお借りし、ポップコーンと綿菓子を作る器具は盛岡市社協の児童館が提供協力したものです。
- ◆ このイベントの準備や運営に、キャンプから17名のかわボラさんが参加しました。



ありがとうございます！ 熊本市から かわボラさんへ支援

- ◆ このほど、熊本市の尾ノ上校区第四町内公民館長安田節爾さんから、かわボラさんの活動に一番必要な体力維持のための食糧費に充てて欲しいということで、町内公民館活動で集められた貴重な浄財がキャンプに寄付されました。安田さんは、昨年9/8~9/14までキャンプに滞在し、宮古市の仮設住宅集会所のサロン活動として子供たちに竹トンボづくりを指導されるなど、熱心に支援活動に参加されました。
- ◆ キャンプには、これまでもかわいキャンプの卒業生さんや留学生さんから、かわボラさんを支援するたくさんのご寄贈をいただいております。郷里に帰られても、キャンプの仲間思いを寄せ、また地域の方々にキャンプの活動内容をお話しされ、ボランティアさんへの支援をいただけることは感謝の念に堪えないところです。ありがとうございました。

リポートかわいキャンブ

2012. 1. 11
第 79 号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンブ利用状況 (1月11日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,551 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 1. 10 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,031 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 1. 10 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	1/11	12	13	14	15	16	17
曜 日	水	木	金	土	日	月	火
宿 泊 者	9	9	8	9	5	6	6
活 動 者	11	10	9	14	11	7	7
内 個 人	11	10	9	14	11	7	7
訳 団 体	0	0	0	0	0	0	0

きょう 東日本大震災から 10 カ月

大震災からきょうで 10 カ月経ちました。沿岸被災地 12 市町村の市町村長さんに対する地元紙のアンケートでは、5 名の方が復興への見通しについて「あまりついていない」と答えています。災害公営住宅や高台移転地の整備など住宅環境を整えることが課題となっているためです。

ボランティア活動による支援では、これら市町村長さんが考える課題に直接応えることはできません。被災された一人一人の方々が暮らしの立て直しを目標に、地域の絆の中で生きる希望の光を持ち続けることができるよう支援することが、これからのボランティアに求められる活動です。キャンブでは、被災地のボランティアニーズに応えることのほかに、復興支援センターと連携しながら必要な支援提言も行いたいと考えております。



商店街レッドカーペット 2012

新成人、お祝い事の市民を祝福

- ◆ 宮古市の末広町商店街振興組合(理事長 佐香英一さん)では、8 日 16:00 から同商店街の歩行者天国において「商店街レッドカーペット 2012」を開催しました。新成人や昨年お祝い事があった市民の皆さんが、約 150 名の真っ赤なカーペットを歩き、沿道の市民から祝福されました。震災の際に尽力された消防団員の方々を先頭に、晴れ着の新成人、スポーツで活躍した生徒さんなど約 200 人が続きました。
- ◆ この催しは、商店街が進める三気（元気、活気、^{じんき}人気）UP事業の一つとして行われたもので、震災後の地域の元気や活気を奮い起こし、復興再生を図ろうと企画したものです。
- ◆ この運営の支援に参加したかわぼうさん 10 名は、夕食会に招待を受け、商店街の方々と交流することができました。



盛岡市災害ボランティアセンター 019-651-1000
盛岡市かわいキャンブ 0193-76-2005



キャンプ利用状況 (1月13日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,568 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 1. 12 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,052 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 1. 12 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	1/13	14	15	16	17	18	19
曜 日	金	土	日	月	火	水	木
宿 泊 者	8	10	5	6	6	7	6
活 動 者	9	17	12	6	7	8	7
内 訳	個 人	9	17	12	6	7	7
	団 体	0	0	0	0	0	0

1 月の「思い出の大槌町写真返却展」始まる。

- ◆ 大槌町城山公民館で、きのうから 15 日まで「思い出の大槌町写真返却展」が開催されています。大津波で流出し回収されたバラ写真、アルバム、卒業アルバム、額縁写真、トロフィー、賞状、はがき等を洗浄し、整理されたものを持ち主の方々などにお返しするものです。ここでは、集合写真の複写サービスも行っています。キャンプからもこの運営支援に参加しています。
- ◆ これまでキャンプでは連日、運動公園相撲場や被災した旧大槌中学校体育館の一室で行われる洗浄・整理作業に、NPO パレスチナ子どものキャンペーンさんのご指導を受けながらに参加してきました。1 枚でも多くの思い出を探していただけるよう分かりやすく整理して展示しています。まだまだ未処理・未整理のものも多く、作業は続きます。



きのう 今冬一番のしばれ !!

- ◆ 岩手県内はきのう 12 日の朝、冬型の気圧配置が強まり、この冬一番の「しばれ」となりました。本州で最低気温の記録がある盛岡市玉山区数川では零下 21℃、盛岡市中心部が零下 11.5℃、宮古市が零下 9.1℃、大槌町が零下 10.6℃と、いずれも今年の冬最低の気温となりました。ここ川井地区でも、零下 11℃を記録しました。
- ◆ 路面は、少しの積雪でも凍結します。自家用車でお出でになるボランティアさんは、タイヤの冬仕様はもちろんです、カーブが多い国道 106 号での走行にはくれぐれも慎重に。また、施設内の水道管などの凍結防止のため、日中も含め水抜きや水落としを怠ることのないようにしましょう。



キャンプ利用状況 (1月15日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,585 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 1. 14 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,079 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 1. 14 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	1/15	16	17	18	19	20	21	22
曜 日	日	月	火	水	木	金	土	日
宿 泊 者	6	8	11	11	9	10	41	9
活 動 者	12	7	9	13	12	11	44	42
内 訳	個 人	12	7	9	13	12	11	14
	団 体	0	0	0	0	0	0	30

川井地域新年交賀会 開催される

- ◆ きのう 14 日、やまびこ産直館食堂において川井地域新年交賀会が開催され、地域の方々約 70 名が出席し、安全で安心な住みよい地域づくりを誓い合いました。この新年交賀会には、かわいキャンプにもご案内があり、瀧野所長と工藤所長代理が出席し、地域の方々と交流を図りました。
- ◆ 主催の川井地域協議会伊藤会長さんの挨拶の中では、かわいキャンプによる被災地支援活動への感謝の言葉をいただきました。来賓の宮古市の山本市長さんと前川市議会議長さんからは、震災直後に川井地区の皆さんからいち早く避難所等に届けられたおにぎりの炊き出しに対する感謝と、復興元年に賭ける決意が力強く述べられました。



伊藤会長さんのご挨拶



小正月のミズキだんご(産直館店内)



中央右側/山本宮古市長さん

- ◆ この交賀会の冒頭で、出席者全員で歌った宮古市民歌(森・川・海のみやこ)の歌詞の中に「森・川・海きらめいて 森・川・海うるわしく」「森・川・海幸多く 森・川・海ありがとう」「森・川・海おだやかに 森・川・海すこやかに」という一節があります。自然の美しさをたたえ、自然の恵みに感謝し、自然の安穏を願い、自然と共存して生きる宮古市民の姿をみることが出来ます。今後、三陸被災地の古里の復興は、この姿を抜きにしては語れないものと思います。



キャンプ利用状況 (1月17日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,599 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 1. 16 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,098 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 1. 16 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	1/17	18	19	20	21	22	23
曜 日	火	水	木	金	土	日	月
宿 泊 者	13	15	12	13	46	14	15
活 動 者	9	15	17	14	48	47	18
内 訳	個 人	9	15	17	14	18	17
	団 体	0	0	0	0	30	30

きょう 阪神大震災から 17 年 兵庫県から多くのボランティアさん

- ◆ 6,434 名の尊い命が奪われた阪神大震災からきょう 17 日で 17 年経ちました。当日早朝の TV ニュースから流れる悲惨な映像に衝撃を受けました。1,000 ㎡以上も離れた岩手に住む私たちにとっては、何か遠くの地で起きている出来事のような感覚で TV 画面を追っていた記憶があります。それから 17 年後、私たちの郷土三陸沿岸は、東日本大震災により町をつくる人、物、仕組みの機能のすべてが壊滅的な状況に陥りました。
- ◆ 阪神大震災では、1 年間で 137 万人のボランティアが被災地の支援に向かうなど、ボランティア元年と呼ばれました。全国のボランティアさんがそれぞれの思いを持って被災地に集まり、支援活動を行ったのです。東日本震災発生直後から、阪神大震災の地元兵庫県内からは、たくさんの自治体職員やボランティアさんがいち早く沿岸被災地に駆け付け、経験を生かして復旧・復興を支えています。かわいキャンプには全国すべての都道府県から来所されております。開所から年末までの実人数では、兵庫県から約 100 名のボランティアさんが支援活動に参加していただいております。



2012. 1. 8 新春イベント支援 (グリーンピア三陸みやこ体育館)



キャンプ利用状況 (1月21日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,654 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 1. 20 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,156 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 1. 20 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

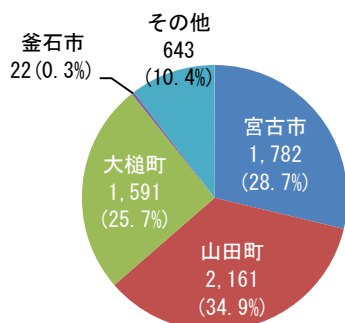
区 分	1/21	22	23	24	25	26	27
曜 日	土	日	月	火	水	木	金
宿 泊 者	39	16	16	17	17	15	15
活 動 者	43	43	20	18	19	18	16
内 訳	個 人	25	20	18	19	18	16
	団 体	18	0	0	0	0	0

きょう キャンプ開設 200 日目

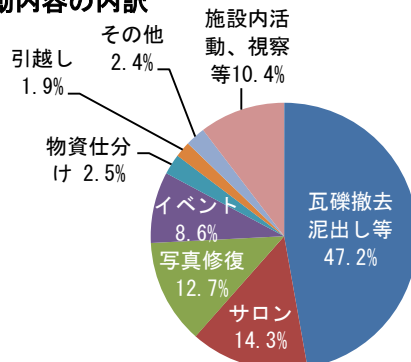
宿泊利用 5, 693 名、活動者 6, 199 名

- ◆ きょう 1 月 21 日、キャンプが昨年 7 月 6 日にオープン以来 200 日目を迎えました。きょうの予定の方を含んで、これまで宿泊利用者で延べ 5,693 名（男性 4,079 名、女性 1,614）名、活動者で延べ 6,199 名のボランティアさんにキャンプをご利用いただきました。全国すべての都道府県から支援に駆け付けていただいておりますが、12 月、1 月の冬場においては、長期の滞在やリピーターのかわボラさんにしっかりとキャンプを守っていただき、現地で活動するボランティアさんが少なくなる中で、屋内外の応急的な活動要請に应运えていただいております。
- ◆ きょうと明日の 2 日間とも、支援活動に参加されるボランティアさんは 43 名に上ります。2 度目となる日本いきいきライフ協力機構（JILCA）さん 18 名が、キャンプに宿泊しながら山田町仮設住宅でのカフェなどの活動に入ります。
- ◆ キャンプ 200 日間の活動先と活動内容の内訳は、次のとおりです。

■ 活動先の内訳 -活動者延人数(割合)-



■ 活動内容の内訳





キャンプ利用状況 (1月23日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,709 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 1. 22 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,242 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 1. 22 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	1/23	24	25	26	27	28	29
曜 日	月	火	水	木	金	土	日
宿 泊 者	16	16	15	14	16	38	17
活 動 者	20	17	17	16	17	36	39
内 訳	個 人	20	17	17	16	17	16
	団 体	0	0	0	0	0	20

ジルカ

JILCA(日本いきいきライフ協力機構)

山田町仮設住宅でカフェなどの活動

- ◆ 21 日、22 日の両日、東京都の^{ジルカ}JILCA（日本いきいきライフ協力機構 代表 宮武直子さん）一行 18 名は、キャンプに宿泊し山田町の仮設住宅でカフェ、小物づくり、マッサージ活動を行いました。キャンプの利用は、12 月 3 日以来 2 回目で、さらに来月の活動も予定されています。JILCA さんは 20 日夜横浜駅、東京駅を発って、21 日と 22 日に活動し、23 日の朝出発地に戻るもので、キャンプ 1 泊、バス 2 泊の日程で活動したものです。
- ◆ JILCA さんは、東日本大震災の被災地を訪問し、瓦礫撤去やマッサージ等を通じて「復興支援」、「孤独死対策」に取り組んでおり、仮設住宅がなくなるまで続けられる予定とのことです。

今冬 一番の雪降りに雪かき

かわいキャンプでも 15 ㌢

- ◆ きょう 22 日、気圧の谷の影響で岩手県内全域にまとまった雪が降り、被災地も今年の冬一番の雪となりました。ここかわいキャンプでも朝方で 15 ㌢を記録し、一晩で辺り一面がすっかり雪景色となりました。
- ◆ キャンプでは、写真洗浄のかわボウさんとともに雪かきに汗を流しました。また、積雪を心配された地元上川井地区の方からは、国道 106 号からの進入道路等を除雪車によって除雪していただきました。





キャンプ利用状況（1月25日現在）



- 宿泊利用者数 延べ 5,741 名 *2011. 7. 5 ～ 2012. 1. 24 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,279 名 *2011. 7. 6 ～ 2012. 1. 24 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	1/25	26	27	28	29	30	31
曜 日	水	木	金	土	日	月	火
宿 泊 者	15	14	14	38	17	17	16
活 動 者	17	16	15	36	39	17	18
内 訳	個 人	17	16	15	16	19	17
	団 体	0	0	0	20	20	0

宮古市の写真修復 順調に進む

～ 5, 205 枚の洗浄終了 ～

- ◆ 宮古市役所さんからの要請で、津波で流失し宮古市内で回収された写真、アルバムなどダンボール 62 箱（回収量全体のおよそ 1/2）をキャンプに持ち込んで、洗浄、乾燥、整理、保管の一連の作業を行っています。被災地での活動時間は、通常お昼を挟んで 10:00～15:00 の間で行われますが、ここかわいキャンプではかわボラさんの積極的なご協力もあって、8:30～16:00 と 1 日当たり 2 時間 30 分も長い作業時間を費やしていただいております。
- ◆ 24日現在で、すでに累計で 5,205 枚の写真洗浄を終えるまでとなり、処理量もダンボール箱全体量の半分に達しています。かわボラさんは、写真やアルバムが一日でも早くゆかりの方々に戻ることを願いながら作業を続けています。

山田町仮設住宅集会所の棚づくりに参加

- ◆ 23 日、かわボラさん 2 名は、山田町仮設住宅集会所の棚づくりに参加しました。住宅にお住まいの方々や大工さん、役場の職員さんなどと一緒に、必要な大きさに材料を裁断し、集会所屋やトイレなどに取り付けました。座布団や物品などの置き場所として、集会所の空間を有効に使えることとなりました。



棚板の裁断



棚の取り付け

リポートかわいキャンプ

2012. 1.27
第 86 号
盛岡市災害
ボランティアセンター



キャンプ利用状況 (1月27日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,770 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 1. 26 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,312 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 1. 26 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	1/27	1/28	29	30	31	2/1	2
曜 日	金	土	日	月	火	水	木
宿 泊 者	14	38	17	17	16	16	16
活 動 者	15	36	39	17	18	17	18
内 訳	個 人	15	16	19	17	18	17
	団 体	0	20	20	0	0	0

「かわいキャンプ足湯教室」開講 !

～ 堀田さんを先生に ～



- ◆ きょう 26 日 17:30 から、キャンプの食堂でかわぼうさんを生徒に足湯教室を開講しました。講師の先生は堀田裕紀さん(愛知県)。参加されたかわぼうさんは、その技を習得しようと熱心に学習しました。
- ◆ 足湯は、足が温まることによって血行も良くなり、体の芯がリラックスし、気持ちも癒される効果があります。足にマッサージを加えることにより、さらに血行が促進されます。開かれた気持ちの中から被災された方々との会話も弾み、心の交流もあります。
- ◆ 堀田さんは、今月 21 日から 1 週間キャンプに滞在し宮古市の仮設住宅サロン活動に参加しました。24 日には、宮古二中仮設住宅集会所にポリバケツ、入浴剤などを持ち込んで足湯サロンを行い、訪れた方々から喜ばれました。



🔥 ガスの元栓はきっちりと閉めよう

- 施設内の食堂には、ガス、水道、シンク、電子レンジ、電気炊飯器、調理器具など旧調理実習室ならではの設備が整っております。器具類の使用後の後片付けは良好ですが、ガスの元栓の閉め忘れがあります。調理台のガスを使用した際には、責任をもってきっちりと閉めましょう。



宮古二中仮設住宅集会所
足湯サロン (1/24)



キャンプ利用状況 (1月30日現在)



- 宿泊利用者数 延べ 5,839 名 *2011. 7. 5 ~ 2012. 1. 29 宿泊分までの累計
- 活動者数 延べ 6,412 名 *2011. 7. 6 ~ 2012. 1. 29 活動分までの累計
- 今後の宿泊利用・活動予定者数

区 分	1/30	31	2/1	2	3	4	5
曜 日	月	火	水	木	金	土	日
宿 泊 者	19	17	21	18	16	16	15
活 動 者	18	19	20	23	17	17	17
内 訳	個 人	18	19	20	23	17	17
	団 体	0	0	0	0	0	0

パン・ケーキ「みついし」さん 地元紙ルポに登場 !

- ◆ このほど、ふるさとを胸にいだきながら内陸からの再起を図ろうとする方々を紹介する地元紙の連続ルポに、上川井の「みついし」さんが登場しました。みついしさんは、この大震災で山田町の自宅と菓子工房を失いましたが、昨年12月1日にキャンプの麓、国道106号沿いにオープンしたお菓子屋さんです。
- ◆ ここでは、朝早くから、焼きたてのパンやケーキを販売します。オープン第1号のお客さんは、おそらくかわボラさん。デジカメを持ち込んでキャンプ内に紹介。長く滞在するかわボラさんは、このお店に通うのが日課で、店のご主人と奥さんとはすっかりお馴染みとなっています。この時期、遠く離れて支援活動に勤しむかわボラさんにとって、みついしさんには心を温めてくれるものがあるようです。
- ◆ 震災からの新しいスタートに、キャンプからもエールを送ります。



早稲田大学 合唱団みやこ 仮設住宅コンサート



- ◆ 28日、29日の両日、早稲田大学の学生さんをメンバーとする「合唱団みやこ岩手演奏会」20名が、キャンプに宿泊し宮古市の仮設住宅で合唱コンサートを開催。28日は河南地区の、29日は宮古市立第二中の仮設住宅談話室で、南部牛追い唄や雨二モ負ケズ、となりのトトロなど、懐かしの曲を被災地に届けていただきました。
- ◆ 活動から帰られた28日の夜には、キャンプ食堂で(仮称)かわボラ交歓コンサートを開催。若い世代との交流にキャンプは大いに盛り上がり、最後は、全員手を繋ぎ輪となつての大合唱となりました。この日、キャンプは38名のボランティアさんの宿泊となりました。



上は河南地区仮設住宅、下はかわボラ交歓コンサート